

2009年3月期決算案発表 共通質問

契約の状況等

		08年3月期	08年9月期	09年3月期
新契約高	(百万円)	3,802,588 (10.9%)	1,894,777 (0.8%)	3,873,710 (1.9%)
保有契約高	(百万円)	31,497,346 (4.1%)	32,065,432 (3.8%)	32,517,660 (3.2%)
解約・失効高	(百万円)	1,849,909 (9.9%)	979,318 (7.5%)	2,135,179 (15.4%)
解約・失効率	(%)	6.12 (0.33ポイント上昇)	3.11 (0.1ポイント上昇)	6.79 (0.67ポイント上昇)
保険料等収入	(百万円)	648,406 (7.1%)	327,085 (2.7%)	662,011 (2.1%)
うち個人保険分野	(百万円)	639,794 (7.4%)	323,315 (2.8%)	653,538 (2.1%)
うち団体保険分野	(百万円)	7,126 (9.0%)	3,510 (0.8%)	7,104 (0.3%)
新契約年換算保険料	(百万円)	63,475 (3.2%)	30,940 (0.9%)	61,693 (2.8%)
うち第三分野	(百万円)	13,358 (7.7%)	6,513 (1.2%)	13,443 (0.6%)
保有契約年換算保険料	(百万円)	530,011 (5.0%)	540,948 (4.5%)	547,898 (3.4%)
うち第三分野	(百万円)	122,854 (4.6%)	124,595 (3.4%)	126,662 (3.1%)

*保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険。

*解約・失効は、復活契約を失効と相殺せずに算出。

*保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金+医療保障保険(団体型)の合計保険料。

*年換算保険料の対象は個人保険と個人年金。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

*()内は前年同期比増減率(解約・失効率は前年同期比増減ポイント)。

*保険料等収入は損益計算書ベース。

資産の状況等

		08年3月末	08年9月末	09年3月末
総資産	(百万円)	3,659,786 (6.2%)	3,785,372 (4.9%)	3,810,929 (4.1%)
実質純資産額	(億円)	6,120 (5.2%)	5,446 (19.3%)	5,326 (13.0%)
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	18.3 (2.4ポイント低下)	15.7 (5.0ポイント低下)	15.1 (3.2ポイント低下)
ソルベンシー・マージン比率	(%)	1,747.9 (104.1ポイント低下)	1,665.4 (204.6ポイント低下)	2,060.5 (312.6ポイント上昇)

*()内は前年同期比増減率(実質純資産額/一般勘定資産およびソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)。

基礎利益・逆ざや・利回り等

		08年3月期	09年3月期	10年3月期予想
基礎利益	(百万円)	23,571 (3.3%)	38,005 (61.2%)	増加

*()内は前年同期比増減率。

		08年3月期	09年3月期	10年3月期予想
逆ざや額	(億円)	267 (106)	213 (54)	減少

*()内は前年同期比増減実額。

		08年3月期	09年3月期	10年3月期予想
基礎利益上の運用収支等の利回り	%	1.73	1.90	上昇
運用利回り(一般勘定)	%	2.17	1.11	上昇
平均予定利率	%	2.68	2.59	低下

準備金

		08年3月末	08年9月末	09年3月末
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	3,313,283 (283,426)	3,451,573 (258,439)	3,546,884 (233,601)
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	3,015,689 (284,847)	3,157,361 (287,253)	3,278,505 (262,816)
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	297,593 (1,421)	294,212 (28,814)	268,378 (29,214)
価格変動準備金	(百万円)	24,099 (3,216)	24,668 (2,250)	3,653 (20,446)
危険準備金	(百万円)	61,807 (2,776)	63,291 (2,876)	45,491 (16,315)
うち危険準備金	(百万円)	16,573 (3,699)	16,908 (694)	17,217 (644)
うち危険準備金	(百万円)	33,833 (296)	33,959 (236)	14,980 (18,853)
うち危険準備金	(百万円)	6,729 (1,507)	7,610 (1,684)	8,471 (1,741)
うち危険準備金	(百万円)	4,671 (4,671)	4,812 (260)	4,822 (151)
危険準備積立金	(百万円)	- (-)	- (-)	- (-)
価格変動積立金	(百万円)	- (-)	- (-)	- (-)

*()内は前年同期比増減実額。

含み損益

		08年3月末	08年9月末	09年3月末
有価証券	(百万円)	127,858 (70,401)	35,935 (170,538)	50,905 (76,952)
うち国内株式	(百万円)	50,874 (79,142)	24,198 (103,559)	1,421 (49,453)
うち国内債券	(百万円)	83,495 (26,381)	21,937 (46,269)	53,860 (29,635)
うち外国証券	(百万円)	9,538 (13,771)	12,175 (16,306)	3,805 (5,732)
不動産	(百万円)	27,193 (6,985)	28,473 (5,510)	27,038 (154)

*有価証券の含み損益は、有価証券のうち時価のあるものについて、満期保有目的の債券の差損益およびその他有価証券評価差額の合計値を記載。

また、有価証券会計欄については、金銭の信託内の有価証券を含んでおります。

*不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価後の水準を記載しています。

*()内は前年同期比増減実額。

運用実績と計画

		08年度実績		09年度計画
国内株式	(百万円)	65,255	(148,750)	横ばい
国内債券	(百万円)	2,958,363	(494,939)	増加
外国株等	(百万円)	20,158	(3,269)	横ばい
外国債券	(百万円)	101,831	(74,400)	横ばい
不動産	(百万円)	79,111	(2,075)	横ばい

* ()内は前年同期比増減実績。

資産の含み損益がゼロになる水準(09年3月末時点)

		09年3月末
日経平均株価	(円)	8,002.00
TOPIX	(ポイント)	763.47
国内債券	(%)	1.5
外国証券	(円)	104.65

* 株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出。

* 国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第一位まで算出。

* 外国証券はドル円換算にて算出。

10年3月期の業績見通し

		10年3月期予想
保険料等収入	(百万円)	増加
保有契約年換算保険料	(百万円)	増加
保有契約高	(百万円)	増加

銀行との資本持ち合いについて

銀行からの拠出

		総額
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	該当なし

* 銀行からの拠出の劣後ローン等は、劣後ローン及び劣後債。

* 銀行からの拠出の株式は3月末の時価。

銀行への拠出

		総額
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	該当なし

* 基金拠出者以外の金額も含む。

* 銀行への拠出の保有している株式には、優先株を含む(各行・グループの海外現法への出資は除く)。

* 銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券。

社員数

		08年3月末	08年9月末	09年3月末
営業社員	(人)	4,248 (0.2%)	4,300 (2.4%)	4,362 (2.7%)
内勤社員	(人)	1,124 (10.8%)	1,175 (8.1%)	1,237 (10.1%)

* ()内は前年同期比増減率。

銀行窓販の状況

		08年3月期	09年3月期	窓販開始以来実績 02年10月～09年3月
変額年金保険	新契約件数 (件)	34 (88.9%)	9 (73.5%)	89
	金額(収入保険料) (百万円)	44 (449.9%)	4 (90.5%)	140
定額年金保険	新契約件数 (件)	50 (31.6%)	42 (16.0%)	183
	金額(収入保険料) (百万円)	52 (264.3%)	59 (13.0%)	199

* ()内は前年同期比増減率。

* 金額の欄には、一時払契約は一時払保険料を、その他は1年分の保険料に相当する金額を記載しています。

< 全面解禁商品 > 商品別に記入		09年3月期	窓販開始以来実績 07年12月～09年3月
平準払定期保険	新契約件数 (件)	4 (-)	4 (-)
	金額(収入保険料) (百万円)	19 (-)	19 (-)

* ()内は前年同期比増減率。

その他質問項目(2009年3月期)

2008年度下半期の契約の状況等

		07年10月～08年3月	08年10月～09年3月
新契約高	(百万円)	1,923,219	1,978,933 (2.9%)
解約・失効高	(百万円)	939,219	1,155,860 (23.1%)
解約・失効率	(%)	3.11%	3.67% (0.56ポイント上昇)
保険料等収入	(百万円)	329,864	334,925 (1.5%)
うち個人保険分野	(百万円)	325,219	330,223 (1.5%)
うち団体保険分野	(百万円)	3,588	3,594 (0.1%)
新契約年換算保険料	(百万円)	32,249	30,753 (4.6%)
うち第三分野	(百万円)	6,765	6,930 (2.4%)

*保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険。

*()内は前年同期比増減率(解約・失効率は前年同期比増減ポイント)。

*解約・失効は、復活契約を失効と相殺せずに算出。

*保険料等収入は損益計算書ベース。

*保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金

+医療保障保険(団体型)の合計保険料。

*年換算保険料の対象は個人保険と個人年金。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法

に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

「不払い問題」に対する主な再発防止策(カッコ内はその金額)

再発防止策のうち、2008年度の主な取り組み内容は以下のとおりです。

お支払いに該当しないと判断した場合、診断書取得費用の当社一部負担を2008年10月より開始

保険金・給付金請求時ヒアリングシートの運用開始と同ツール充実のためのシステムを2008年7月より稼働(約1億円)

お客さま毎に、誕生日の数ヶ月前に「保障内容のお知らせ」をお届けできるよう変更し、これを契機としたアフターフォロープロセスを2009年4月より開始

支払査定業務に関する業務フローを抜本的に改善するための大規模システム開発

-「業務フローの大幅な改訂」「請求書類等の入力精度の大幅な向上等、業務精度の向上」を実現するシステム開発を完了し2008年4月より稼働(約10億)

-「お支払い時の情報提供のさらなる充実」「業務のさらなる効率化」を目標とした大規模なシステム開発を継続中

証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

		2009年3月末			
		時価		含み損益	実現損益
			2008年3月末		
証券化商品等合計	(億円)	604	634	16	18
(うちサブプライム関連全体)	(億円)	(-)	(-)	(-)	(-)
SPEs一般	(億円)	-	-	-	-
CDO	(億円)	-	-	-	-
その他サブプライム・Alt-Aエクスポージャー	(億円)	-	-	-	-
CMBS	(億円)	-	-	-	-
レバレッジド・ファイナンス	(億円)	-	-	-	-
RMBS	(億円)	-	-	-	-
クレジットリンクノート/ローン	(億円)	-	-	-	-
その他	(億円)	604	634	16	18

【特記事項】

上記「その他」の内訳は、「CBリパッケージ債 3月末時点 時価191億円 含み損14億円」と「元本確保型クーポン日経平均連動30年債 3月末時点 時価412億円 含み損1億円」となっております。

なお、上記数値につきましては「平成20年度決算(案)のお知らせ」内の有価証券の評価損益に含まれております。